

# 2022年 会員アンケート結果

特定非営利活動法人環境文明二十一

1993年に設立した当会も来年9月には満30年を迎えます。これを機に、当会の役割や今後の活動などにつきまして、会員の皆様の率直なご意見・ご希望などをお伺いしたいと思い、アンケート調査を行いました。ご回答いただいた皆様、ご協力ありがとうございました。

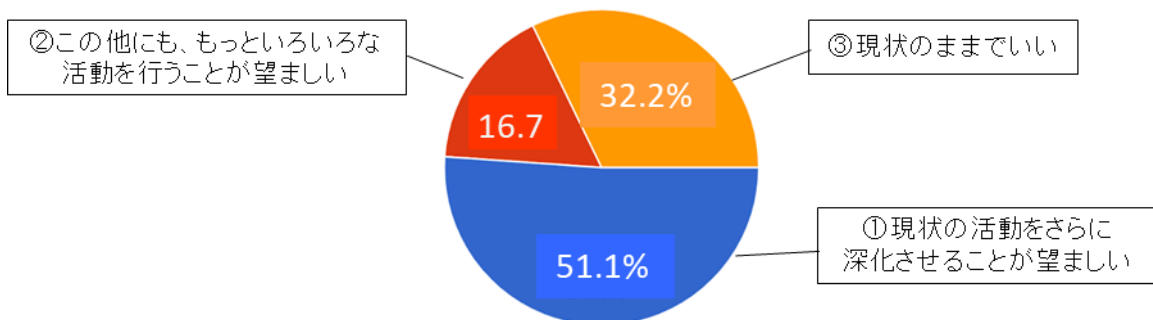
なお12月会報には少しの解説も含め要約したものを掲載しますが、Webでは全文原文のまま掲載しています。

【送付数(郵送、メール)】279 【回答数】90

## 問1. 活動内容について

現在、会報やホームページ、ミニセミナーなどによる普及活動、部会活動、環境文明塾、グリーン連合と連携した政策提言・白書づくり、経営者環境力大賞事業など行っています。

このことについて、どのようにお考えですか。一つだけ○をお付けください。



### ②この他にもいろいろな活動を行うことが望ましい (具体的に)

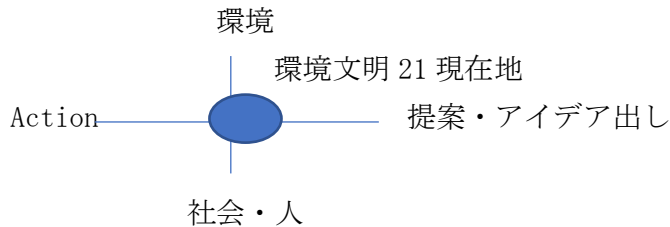
- ・各分野の活動内容を、更に進行・具体化してください。
- ・実際の行動につながる活動 (政治家への政策提言など)
- ・環境事業 (営利事業)
- ・内容は素晴らしい一方、多くの方には届いていない印象があるので、SNSの活用等による広報
- ・普及活動を強化するべきだと思います。例えば、Twitterは拡散性があり、文字ベースなので、環境文明21にとって比較的労力をかけることなく始められるかと思います。
- ・難しいことは十分承知しているが、政策につなげる活動 (政治家との連携も含む)
- ・環境活動に取り組んでいる優良事業体と広域企業・自治体との橋渡し
- ・会員外にも活動が見えるようにすること
- ・会員以外の人にも対象としたオープンな研修会や勉強会の開催 (オンライン)
- ・現状活動の深化として環文が蓄積した知見をさらに広める戦略的な広報活動の拡大を環文の世代交代期を契機として検討する意味があると考えています。(戦略的と書きましたのは、伝え方と

その内容の見直し、伝えるタイミング、分かり易い脱炭素社会実現後の社会の姿の提案、伝える重点対象層の選択、現在の広報活動の見直しから得る今後の教訓と実践、会員と事務局の作業分担、新しい考え方を持ついろいろな分野の知見（会員）の導入、これらを議論し検討する新部会の設置、等を含んでいます）

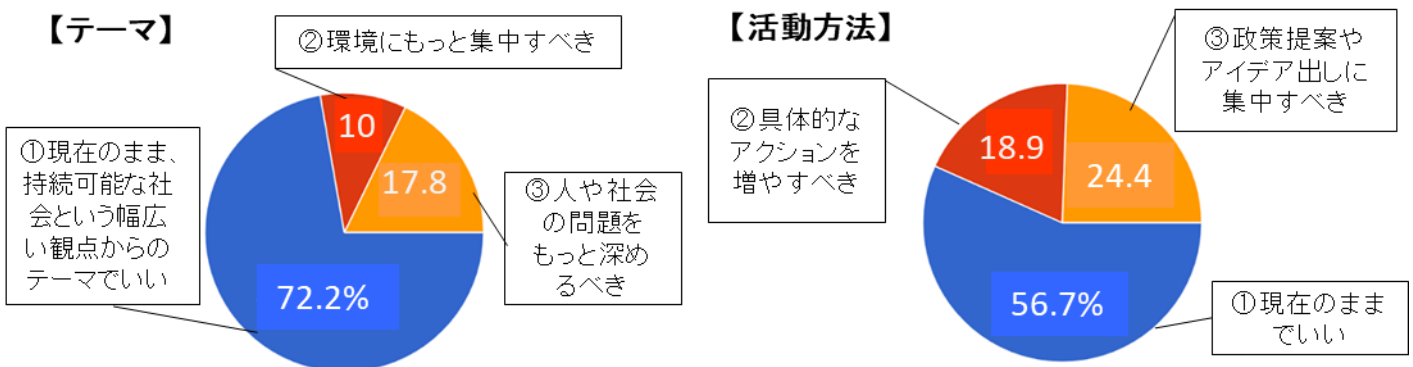
- 時どきの環境大臣等との公私接触を工夫し政策反映に全力を。
- 国民が広く参加出来る「もったいない」運動のような取り組みを提言できるといいと思います。
- 地道な活動に敬意を表します。一般の人への情報の発信に注力してください。マスメディアの報道がすべて正しいわけではない。いたずらに期待を持たせる新技術の動向などについて、その実現の可能性などをきちんと検証したデータを提供していただけたら嬉しい。
- 現場とのつながり望む
- 人びとの多くは、環境の現状をあまりにも知りません。セミナーなどで理解を深めてくれれば、と思いますが、いかんせん環文のイメージは抽象的で、そもそも無関心な人びとにとってはピンとくる具体像を結べないのですね。そこをどうすればよいのか？異種合同？『倫理』という語は硬いのでは・・・との受け取りかたもありましょうが、すべてに関わる大事な言葉ですから掲げておかなければ、と思います、環文にピッタリですし。
- パワーポイントとマニュアルで講演できるインストラクターの養成
- 経営者大賞を広く広報できれば

## 問2. 環境文明の位置づけ

「環境問題は文明の問題」という設立当初からの視点に基づき、特定の環境問題だけでなく、持続可能な社会という観点から幅広いテーマに取り組んでいます。またデモなど具体的なアクションではなく、調査研究に基づく提案やアイデア出しが中心です。このことについて、どのようにお考えですか。【テーマ】【活動方法】ごとに一つだけ○をお付け下さい。

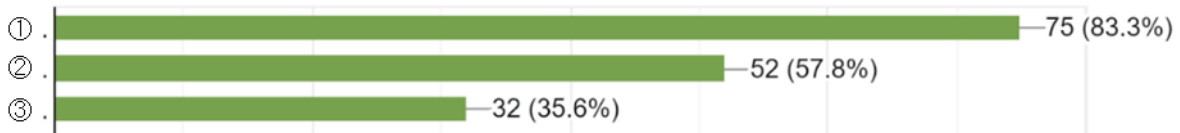


- 【テーマ】は、
- ①現在のまま、持続可能な社会という幅広い観点からのテーマでいい
  - ②環境にもっと集中すべき
  - ③人や社会の問題をもっと深めるべき
- 【活動方法】は、
- ①現在のままでいい
  - ②具体的なアクションを増やすべき
  - ③政策提案やアイデア出しに集中すべき



問3. 様々なNPOが活動する中で、環境文明21ならではの活動とは、  
 どのようなことだとお考えですか。いくつでも○をお付けください。

- ①幅広い視点から環境や持続性について発信し探求し続けていること
- ②価値観の転換という難題に取り組み、主張し続けていること
- ③憲法に「環境・持続性原則を入れる」ことを働きかけていること
- ④その他（具体的に \_\_\_\_\_ )

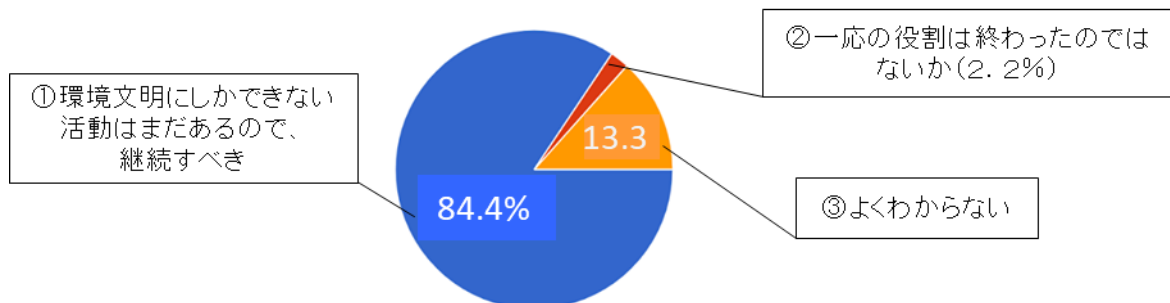


④その他（具体的に）

- ・ 文明や人としての倫理感に基づいた環境啓発活動
- ・ 営利事業を通じた環境貢献
- ・ 経営者環境力大賞の選考
- ・ 地域性のある環境文化を視野に。（豊岡のコウノトリプロジェクト）
- ・ ぜいたくをしない
- ・ 経済にも配慮を加えた分かりやすいこと
- ・ ①②の発信し主張する対象の人々とその方法を再考し世に存在感を示す

問4. NPO 環境文明21の存在価値についてどのようにお考えですか。  
 一つだけ○をお付けください。

- ①環境文明にしかできない活動はまだあるので、継続すべき
- ②一応の役割は終わったのではないか
- ③よくわからない



問5. あなたが会員としてできること、したいことは何ですか。  
いくつでも○をお付けください。

- ①会の活動状況を周囲にも伝え会員獲得につなげること
- ②寄付や遺贈など資金面での支援
- ③会員として支援を続ける
- ④特に思いつかない
- ⑤その他具体的に ( )



⑤その他（具体的に）

- ・本会の特徴ある立ち位置（倫理とか）をアピールすること
- ・余裕ができれば、地域での活動を皆さんに伝えたい
- ・地方の情報を発信できる
- ・経済屋一落ちこぼれですが一として環境問題にどう取り組むべきかを検討する。現在のところ解がない状態。原発再稼働や増設に経済屋のほとんどが向かっている中で、人間が制御できないものに依存できないという立場で考えると本当にむずかしい。脱成長と環境文明は言っているが、成長しない持続可能な経済構造についての実現可能性に疑問を持っている。人間は一度享受した物質的豊かさを容易には捨てられない。だからといって技術が現在の物的豊かさと環境負荷の低減を両立させられることができるとは思えない。物的成長でなく心の豊かさを増大するような新しい成長概念を作り広めることが必要と思料。そのためには自然環境や自然資産の使用に基づくコストを適切に考慮しなくてはならないと思いますが、この分野は過去にいろいろな提案がありますが、どれも理念にとどまり操作可能、定量可能になりませんでした。
- ・養老さんの本を読めば、私のようなレベルは素朴で単純すぎて、まるで社会構造を解っちゃいないのだと冷笑され・・・（養老さんは、アキラメてしまっているのです）環境のための的確な考え方とは一体、どういうものなのか？ それを知るために、専門知である環文の門を叩いたのでした。——で、自分たちはなにも間違っていないと勇気づけられ、また知者といえども、方法論の正解を見いだすに程遠いのだ、とも理解できました。（恥ずかしながら、環文のためというより私自身のため、ですね）
- ・加藤氏の記事を新聞（毎日）で知り感銘し入会しました。
- ・会報を楽しみにしています。
- ・他のNPOとの交流
- ・余裕がない
- ・①の「会の活動状況を周囲にも伝え」まではできるが後半の「会員獲得につなげる」はどうか

## 問6. そのほか、ご意見ご要望など、ご自由にご記入ください。

### 【がんばれ、お褒めの言葉】

- ・日々の活動をさらに進めてください。
- ・コロナ下での活動は大変でしたでしょうが、淡々と継続して頂きたいと思います。
- ・問一への回答の繰り返しとなってしまい恐縮ですが、内容は素晴らしいので、多くの方に届けるための広報・普及活動が課題だと認識しています。
- ・環境文明 21 が発足した当時、文明のあり方を考え直すという問いかけに、世の中は「そんなに大上段に構えなくても」「文明の問い直しなどできるわけがない」と受け止めたのではないのでしょうか。世の中には、そこまで本質に切り込んで不都合なことがたくさんあったからだと思います。しかし今日、誰もが文明のあり方、日々の暮らしのあり方を見直さないと、明るい未来などないことに気づきはじめたのではないのでしょうか。

環境文明 21 が、コツコツと環境問題の本質に迫る努力を重ね、逆風の中でも発信を続けてきたことは特筆に値します。日本の NGO では環境文明 21 だけです。

私は、日本の頭脳の中でお役人を一番信頼しています。第二、第三の加藤さんが輩出しないかと願っています。宇沢弘文さんのお弟子さんだった方々が、いまだその意志を次いで活動しているのを見るにつけ、環境文明 21 のもとに、現役の若手役人が集い、加藤さん、藤村さんと、じっくりと日本の未来を考える集まりができないものかと願っています。

- ・ESG, SDGS, GX と環境を経営に取り入れる事が一般的に認知され、少し行動につながってきています。更に地道な活動を続ける事が次世代へのメッセージになると思います。
- ・末永く、環境と文明の関係性について、掘り下げて
- ・今行っている活動、政策制度の研究発表、機関紙や、年報の発行、企業活動の表彰などを続けてほしい。戦前の軍拡に明け暮れた時代にもその間違いを指摘した先人がいた。
- ・会報をいつも楽しみにしています。内容が充実していて読みごたえがあります
- ・皆様がんばっておられるので、このまましっかりと続けて行ってほしいです。
- ・環境文明 21 の強みは、環境に関する哲学とネットワークだと思いますので、それらを活かした活動を深化（進化）させていかれるのが良い
- ・お身体に気を付けられ、いつまでも先頭でご活躍を祈念いたします。
- ・環文の活動は素晴らしいと思います。このことをもっと強く世の中にアピールしてほしいです
- ・毎回の会報をととても楽しみにしております。いつもありがとうございます。
- ・「脱炭素時代を生き抜く環境倫理」大賛成です。これから生活していく上での指針にしたい。
- ・価値観の転換は、難題と思います。引き続き、ご指導方、お願い致します。
- ・環境問題に対し、政策提言や持続性について発信してきた価値・存在意義は大きいと思う。

一方でその発信を受け入れてくれる社会だったかということと近年大きく変わってしまったのではないかと感じるようになった。コロナとウクライナが大きく影響していると思うが、日本社会が持続的に成長できていないことが一番大きいのではないかと感じている。この会でも「成長」は環境面から見て問題とされてきたが、国際社会の中で日本経済が次の時代に生き残れる「成長」をしてきたかということと大きな疑問符である。ましてやその中で環境を唱えても響く人は限られてしまう。根幹はずれず、展開に多様性を持たせることは非常に難しい。

### 【他者・若者との連携】

- ・同意見又は似た意見を有した者同士の意見交換は、今の日本社会の変革には、限界。
- ・若者との連携を深め、会報にも若者にできる限り書いてもらうようにしてはどうですか。
- ・若い方に発言や参加の機会を与えること。
- ・若い年齢層の会員を多くするための事業をお考えください。
- ・若い人をどのように巻き込んでいくかが課題と思います。
- ・「文明」に関する主張が「宗教」に近いものと取られかねない場合がある。難しいところであるが、昔への回帰のような主張ではなく、新しい生活様式、新しい産業形態といった文明の開拓・展開が必要ではないか。2050年と期限が限られている焦燥感が最近強すぎる気がする。幅広い支持を得ないと達成できないのであるから、無関心層の獲得のみならず、反対者との議論を積み重ねて、議論を公開するような取り組みも必要なのではないか。賛同する人ばかりの議論ではなく、重工業の経団連の幹部と議論して公開するような働きかけが必要なのではないか。
- ・若い人を間において特定課題について（内外の）専門家（2人）に議論していただくような対題も有用
- ・各分野で活動しているNPOと、横のつながりを強化していくのはいかがかと考えています。環境問題に対し、政府の姿勢が弱いのは国民として本当にはがゆいと思っています。我、環文研この点継続していくのが良いと考えます。
- ・幅広い関係者、専門家における自由な意見交換、情報交換などの交流ができる場（フォーラム）としての役割を今後も期待しています。

### 【個別】

- ・具体的な環境対策を取りまとめて各方面に提言すること（既に実施済みでしょうか）
- ・エコファンド、クラウドファンド等を通じた環境投資が考えられないでしょうか。
- ・中央での環境活動を共有できるは、とてもありがたいです。
- ・印象として関東域が中心のような発信が多いので、地方行政・企業・団体の取り組みについても紹介できると、参考にできると思う。
- ・環境NPOの老舗としての存在感を出せるといいと思います。正論を発することは孤高を恐れぬ気概を求めるものとも思われます。環境文明史観の提示が求められているように思います。
- ・マクロとミクロからグローバルな気候変動を中心に今後も勉強させていただきたいと思います。
- ・現在、ロータリークラブで所属し、環境問題について広く取り組む課題を探しています。気軽に市民が参加することの出来るテーマがあれば全世界に広がる運動になるのですが・・・。
- ・人々の意識への働きかけが重要。近年SDGsという言葉には企業も含めて誰も反対しなくなったが、必ずしも自分の行動が本当に環境問題の解決に資する行動かを認識しているとは思えない。環境負荷を低減する具体的な行動と其れにより生ずる生活の不便などのコストを明確にしてどちらを選択するのかを迫る必要がある。
- ・シングルイシューの他組織に比し、環境文明の活動は総合政策提示の唯一の民間環境組織である。この社会状況での運営の困難さが思われる。長谷村での実践のように、理念を実行している現場と協働する方向性を考えられないだろうか。

- ・猶予ならない地球規模の温暖化対策 ○国の借金問題 ○持続可能な社会のありよう・・・等々、政治や社会を動かすマスコミに対する働きかけがもっとあって良いと思う。
- ・会報 7月号 風の藤村さんのコメントがこれからの基点だと思いますが、さてこれから具体的にどう行動するか？これが難しい。
- ・カーボンニュートラルの実現に再生可能エネルギーの拡大は不可欠だがその限界も見えている。原子力発電の活用拡大が不可避になると考えており、廃棄物のリサイクルも含めて原発の安全性を高める必要があり、私はその分野でも努力して行きたい。カーボンニュートラルは電力だけの問題ではないが、原発に対して環境文明 21 の考え方を議論して頂きたい。
- ・会員の中で、1 企業が欲している、例えば環境に配慮した「製品、技術、取組み・・・」などを他の会員が持っていれば、その企業間同士のパイプ役を始め、戦略のサポートや提案、助言などをしていただきたい。また、それら企業が、斡旋したい、売り込みたい、また欲している「モノ」の情報発信をして頂きたい。
- ・社会課題解決を通じ持続可能な社会、脱炭素社会構築に向け、ビジネスを拡大（研究開発、最新技術の導入、雇用拡大、売り上げ増大）するという視点も重要ではないかと考えます。勿論、人材育成、ムダな資源・エネルギーの排除が基本です。また、未だコロナの収束とはいきませんが、直接的な人的交流の機会を増やしていてもよいのではないかと感じます。
- ・朝日、毎日、読売、日経等、新聞各社に、或いは TV 各社等に取り上げてもらえるように働きかけることが必要ではないでしょうか！！
  1. エネファームのガスから水素を取り出す機器の効率化
  2. 家庭用の水素パイプライン化の研究 UP
  3. 家庭用バッテリーの普及への PR 活動
  4. 海水から水素を取り出す研究の必要性の PR
- ・子や孫にも色々伝えたいのですが、離れて暮らしているので同様です。上遠さんの Q/A にもあるように、子、孫達（私の）、今現在をどうやって生活してゆくかが精一杯で、環境問題には関心が薄いようですが、近年の異常気候などには気が付き始めましたので、こういうところから少しでも関心を持ってもらえれば良いかなと思う次第です。

### 【構造改革】

- ・根本的な価値観や理念の継続は不可欠だが、社会情勢に合わせた自己変革、あるいは活動の根本的な構造転換も検討する時期かもしれない
- ・何をするにも資金力。どう集めるか。考えあぐね万策尽きたのなら 30 年でやめるもよし。余りかっつけて難しく考えない方が良いのでは。
- ・（問 2 に対して）今まで理屈づけの参考にしてきました。これからは、TV、漫画本アニメなどもっと人の目に触れるよう、やさしく、幅広く、生活に密着していくことを無意識、有意識に×（解読不可能）らせる

### 【その他・ご自身の考え】

- ・講演するに際して“（価値観の）転換”という用語は努めて使わないようにしてきた。理由は①“転換”には押し付けのニュアンスがあると感じられてしまうことを懸念しているためです。経営層



の産業革命以降の資本主義への確固たる主義信条を持っている人々に対して、環境問題を伝えたい我々が使うには、この使い方には抵抗が多すぎる用語と考えています。

②同じように“価値観の転換”の持つニュアンスとして、上から目線の言葉にとられることを避けたいと考えるからです。

③経営層、知識層には環境問題に目を向け、関心を持ち行動してもらうためには、礼節をもって接する事が第一に必要だと考えています。経験から表現には十分注意すべきであることを教えてもらいました。

また経営層・知識層に対するときとは少し異なりますが、若い人たちに対しても、環境問題をここまで深刻にしてしまった我々も含めた過去の世代の責任も伝えるためには、やはり（申し訳ないが）礼節をもって接することが重要だと考えています。

私は“価値観の転換”ではなく“価値観の中に占める環境観の優先順位を上げてもらう”という言い方をしてきました

少しアンケートの質問からは離れますが、日本の科学学界が地球温暖化という日本国民にとっても危機的なテーマにも拘わらず、一部の関係部門を除くと全体として積極的にかつ総力を挙げ取り組んでいるという印象を受けないのは何故だろうかと疑問に思っています。

温暖化説に否定的なの理由なのか、IPCC の報告書は科学的成果とは認めていないからなのか、現代科学が温暖化説、寒冷化説のいずれが正しいのかを決定できるほどに成熟していないからなのか、科学界のセクショナリズムが理由なのか、あるいは公表していないだけで密かに進めているのか等、何が理由なのかと訝しく思っています。これが日本で温暖化防止へもう一歩本気になれない理由の一つなのかもしれません。

本アンケートの間3、問4に関連して環境文明の活動の対象になるのかもしれないがとも考えています。

- ・脱炭素といっても、狭い国土にリサイクルが確立していない「太陽光パネル」を普及することに疑問がある。20年以上もリサイクル音大を放置している政府に信頼はない。レジ袋の有料化も同様に信頼できない政府の政策に虚しく従っている国民は多い。/水道水の残留農薬基準緩和や農薬や除草剤などの使用も緩和され、食品添加物使用数も先進国で群を抜くなど、日本人の生活環境は悪化している。「人間」の生存（脱農薬、脱化学薬品、脱添加物）に力を入れた持続可能な社会の構築でないと心は動かない。/頑張っている個人がSNSで知識や現行政策の問題点を発信するようになったため、必要な情報は得やすくなった。NPOは個人ではできない実践や行動をすることに意義があるのではないか。/環境教育を重視した結果、小学生から大学生まで、「環境」を学んでいる。環境学を専門に学ぶ大学生も増えた。しかし、何が足りないのか？「教育の中身」、或いは、脱炭素や脱プラの「対策そのもの」が間違っているのではないか。求めていることの「根本」が分からなくなってきた。/この夏、エアコンの設定温度を29度にした。室内はとても過ごしにくかった。個人の小さな省エネ努力は、世界の地域紛争で使われる爆弾、火山噴火、富裕層のプライベートジェット、ノルドストリウムの破壊工作の前では意味をなさない。
- ・奥地の水源の森——。風力、太陽光発電で、開発の名のもとに大規模な破壊が始まっていますね。空中写真ではかつての森に樹木無く、しらじらと山肌が広がっている。自然の一体性をそこねて、

なんの役割と相殺できるというのでしょうか。

手段の開発が、目的の選択を一方的に決めてしまう（シューマッハー）。

目先の儲かるビジネスの、深謀遠慮など欠片もなき暴挙に歯止めが効かなくなる——。と危惧していたことが現実になっています。

覆い続けるパネルは、カドミウムや砒素などの猛毒物質を含む、のみならず再利用もできず、廃棄処分をせざるを得ない、と。

後始末の方法などない原発と同じ構造ではありませんか。

日本のメガソーラー開発は、上海の企業なども様々な社名を隠れ蓑にして驀進中であると…

他国への国土売却禁止法さえ、無いのですよね…。

一人ひとりにはどうしようもないこととて、国民はゴミの分別に勤しむくらいで、我が国、そして地球全体の危機的局面には無関心のごとし、です…

加藤さん、コノエさん、どうしたらいいのですか…

- ・ コロナに対する警戒をすることは必要ですが、会員相互の対面しての直接交流は会の活動に不可欠な要素です。コロナが他人との交流を無くしたことで文化の伝承等に危機をもたらせていますが、NPOの活動も大きな痛手を受けています。環文21でも部会などはそろそろリモートから従来の対面での会合に戻す時期が来ているように思います。